

## 犬の石けん処方士タイムズ

処方士  
コラム

## 「犬の石けんとクレイケア」

神奈川県 里見千佳

犬のせっけんPeach Blossom 株式会社サポリエ <https://www.sapolier.co.jp/>

自然のアースカラーが魅力のクレイは石けんの色材としても利用できますが、色だけではない体に対する効果を持っています。犬の皮膚状態の変化からクレイ石けんの良さを知った私は、クレイセラピストとしてクレイセラピーを取り入れた犬と人の石けんの啓発や販売に力を入れています。

石けんの良さのひとつに、「洗った後、原料油脂由来の脂質が膜となり、皮膚上に残って保護する」という性質があります。犬の皮膚は薄くて潤いを失いやすいので、余分な脂質は取り去りながらほどよく自然な脂分を残してくれる石けんは、犬にとって好適といえるでしょう。しかし石けんでのシャンプーケアが難しいと感じる

ケースもあります。特に難しさを覚えたのは体質的に皮脂分泌が多い犬たちです。皮脂が過剰になると常在菌であるマラセチアのエサとなり、増殖して皮膚刺激をおこしますが、皮膚上に残った石けん由来の脂質も同じくマラセチアのエサになり得るのです。では脂質由来ではない洗浄剤はないのでしょうか？

クレイには「吸収」「吸着」「イオン交換」といった3つの基本的作用があります。この中で石けんオプションとして最も力を発揮するのが「吸着作用」です。クレイ=粘土鉱物は層状の微細な粒子で、層の表面はマイナスに帯電しており、プラスに帯電したものを磁石のように引き付けます。老廃物や汚れはプラスに帯電しているといわれ、泡とともに粒子が体に触れるた

び汚れを吸着していきます。つまり石けんとは違ったしくみで汚れを取り去ってくれるのです。また、クレイはパウダーのままでも、水を浸透させたペーストや水溶液でもこれらの作用を発揮して、皮膚のベタつきや気になるニオイを軽減することができます。クレイと水だけならマラセチアのエサとなるような脂質成分は含んでいません。

このようにクレイは石けんの汚れを落とす効力を高め、クレイのみで使っても皮膚の汚れや気になるニオイの軽減に役立てることができます。オイリーなワンちゃんたちには特に助けになることと思います。

※脂漏性皮膚炎などの疾患がある場合は必ず動物病院を受診してください。

きたかま石けん教室会場  
「北鎌倉たからの庭」

## クレイの活用例

①パフなどを使ってクレイをパタパタしてからブラッシング。シャンプーができないときのお手入れに。  
※パウダーを吸い込まないよう注意



②精製水100mlにクレイ1gを混ぜてローションに。汚れやすい耳の内側や口元の拭き取りに。

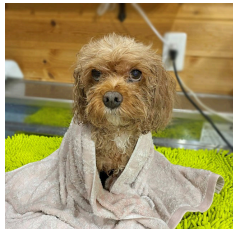
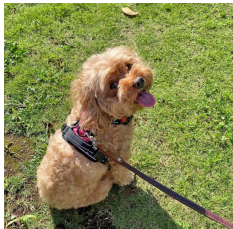
(イラスト：里見千佳)

【広告】♥北鎌倉の古民家でせっけん作り サポリエ里見千佳のきたかま石けん教室 2023年より毎月第4水曜日開催 <https://www.sapolier.co.jp/>

犬で一般的にみられる皮膚の細菌感染症であり、10~15%の罹患率があるといわれている『膿皮症』。膿皮症の多くの場合は『アトピー性皮膚炎』が基礎疾患といわれています。

残念なことに11歳の我が愛犬「枝歩」もダブルパンチ！アトピー性皮膚炎は遺伝だったようでパピーの頃から食物によっては痒みが出るがありました。兄弟犬も同じパターン。そして膿皮症が発症したのは5歳の夏。ちょうど『犬の石けんマイスター』を受講していたころです。幸運にも、かかりつけの獣医師さんは手作り石けん派！「石けんなら回数を増やしても大丈夫だから週に1回シャンプーしてみてくださいね！」という嬉しい指導をいただいたことで膿皮症も一時期より随分緩和されました。

アトピー疾患もあるので、食物によっては耳の内側が真っ赤になります。いろいろ試した結果、枝歩が一番有用だったのが『ヒバの蒸留水』。ぬるま湯で希釈して軽く拭くだけで赤みが落ち着いてきます。犬の皮膚疾患は完治が難しいといわれています。タイプによっていろいろな対処法があると思います。それぞれの犬に合った対処法を探すのも大変ですが、少しでも快適な日常を送ってもらいたい！そんな気持ちで今日もこれから枝歩をシャンプーします！



犬の石けんソーパーの

wan!ダブル  
wan! デイ『我が家の皮膚疾患  
対処法』静岡県 古澤恵美子  
atelier POCKET<https://www.atelier-pocket.net/pocket835@gmail.com>

とつげき

第6回

となりのワンぐるめ

## タコライス風わんこ飯

~1匹分(体重4~5kg)の材料~

(肉と魚)  
砂肝 1個  
サーモントラウト刺身 2切れ  
(野菜)  
レタス 1枚  
赤パプリカ 1/8個  
キュウリ 1cm幅の輪切り 1枚  
サツマイモ 1cm幅の輪切り 2枚  
(穀類)  
白いご飯 大きじ2杯程度  
(その他)  
ワンちゃん用チーズ 少々

沖縄県 岩田 うみ

<https://sekken.okinawa/lycka.fagel.bla@gmail.com>

## ~作り方~

- ① 砂肝とサーモンの刺身を茹でる。  
(サーモンの刺身はかるく茹でてOK)
- ② レタスとパプリカも茹でる。
- ③ サツマイモは鍋または電子レンジで蒸す。
- ④ 1~3の肉魚野菜全てを1cm程度のさいの目切りにする。
- ⑤ 器に白いご飯を盛り、最初にレタスを乗せ、肉や魚、野菜を適当に散らしながら乗せる。
- ⑥ 砂肝とサーモンの茹で汁をそれぞれ大きじ1杯程度かけ、最後にチーズをトッピングして出来上がり！

とても偏食で手作り食が苦手なマルブルー(写真左)がおやつ感覚で食べる食材で栄養バランスも考え作りましたが、写真の通り尻尾を下げて戸惑い気味な態度です。もう一方の犬(写真右)はあっという間の完食！でした。

## 大切なパートナー・愛犬「枝歩」と一緒にイベント活動

静岡県 古澤恵美子 atelier POCKET <https://www.atelier-pocket.net/> pocket835@gmail.com

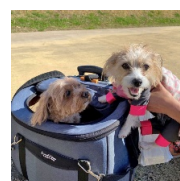
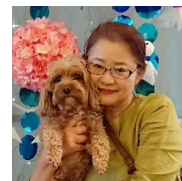
『犬の石けん』に携わるようになって6年。看板娘の枝歩と一緒にイベント、保護犬活動のチャリティーバザー、委託販売などの活動をしています。現在は、伊豆高原わんわんパラダイスホテルの売店販売、川の駅伊豆ゲートウェイ函南で開催されるイベントや委託販売、道の駅伊豆ゲートウェイ函南テナント店での委託販売、犬部わんわんお助け隊チャリティーバザーなどがメインです。

多くの飼い主様とわんちゃんとの交流はとても勉強になり貴重な時間です。「犬を石けんで洗う」ことにお客様の多くが『石けん』のイメージから「ゴワゴワパサパサしないの?」「リンスしなくていいの?」「どうやって使うの?」というご質問が返ってきます。確かに私自身『手作り石けん』を知らなかったらこのような疑問を持ったと思います。

まずは、「なぜ犬に石けんが良いのか」をご案内。しかし「オレイン酸が…」とか「グリセリンが…」とかを説明をするよりも、宣伝部長の看板娘に触れていただと皆さんの『石けん』へのイメージがガラリと感動に変わってくれます。「石けんなのにふんわりしてて柔らかいのね～」と感嘆の声も聞いたりします。

枝歩の上手な接客、そして可愛いお客様ともフレンドリーに交流してくれる彼女は優秀な看板娘。無くてはならない私のパートナーです。

二人三脚で活動してきた彼女も来年の春には12歳、人の年齢にするかと私と同年代。お互い労わり合いながら、一日でも長く楽しく活動が出来たら嬉しいです。今、かけがえのない思い出を作っている真っ最中です。



## 講座『石けん化学を学ぶ前のプレ化学』ができるまで

神奈川県 里見千佳 犬のせっけん Peach Blossom 株式会社サポリエ <https://www.sapolier.co.jp/>

『石けん化学を学ぶ前のプレ化学』は2013年の(一社)ハンドメイド石けん協会のスター講習会で初めて開講し、それ以来毎年のようにブラッシュアップを重ねながら実施してきた当教室定番の講座です。昨年は講座テキストとしてブックレットも制作しました。実は『プレ化学』は犬の石けん作りから派生した講座です。犬の皮膚は人の皮膚よりも薄く、その被毛は人の毛髪よりも密に生えています。また、犬の皮脂汚れは人のものよりも硬く濃厚です。薄くデリケートな皮膚を守りつつか

り汚れを落とさなければなりません。この生理的な違いをどのように石けんのレシピに反映していったらよいか、重要な課題のひとつでした。

例えば石けんの主原料である油脂。たくさんの種類の油脂がありますが、石けんになるのは油脂を構成している10種類ほどの脂肪酸です。その脂肪酸をたどっていくと、種類によって落とす汚れが違ったり、水溶性具合や酸化安定性が違ったり、性質はさまざま。どうしてそういった違いが生まれるのか……理解しレシピに反

映することで、石けんを意図したとおりの使用感に近づけることができますし、飼い主さんや生徒さんに説明する際の大きな助けにもなります。古い文献などから情報を集めながら、自分自身の経験と照らし合わせ、ソーパーが石けん作りで直面するさまざまな「なぜ」を探っていました。この積み重ねが、講座『プレ化学』を生むきっかけになりました。ご活用いただければ嬉しく思います。



ブックレット「ソーパーさんのための石けん化学を学ぶ前のプレ化学」シリーズ ¥880～¥1,100 株式会社サポリエ発行

げたいと思っ  
ます。(優佳)



2022年秋号をお届けします。今回はなんと、犬の石けんの第一人者である里見千佳先生に記事を書いていただきました。『石けん化学を学ぶ前のプレ化学』は、犬の石けんを作る上でも、とても勉強になります。(由子)

マルプー7歳の無かったはずの右後肢爪が突然ブクッと現れびっくりして病院に。残っていた根本の骨に何らかの刺激があり炎症をおこしたものだそうです。しばらく様子を見て切るか残すかの判断となりました。(うみ)

我が家のヨーキー15歳の長寿犬表彰されました。愛されキャラのレオンの思わぬ表彰に家族は大喜び(笑)最近はお眠りしていることが多いです。一緒に過ごせるように、これからも頑張りたいと思っ

### 編集後記



犬の石けん処方士タイムズ vol.6  
2022年10月31日 発刊 (通刊6号)  
発行人: 犬の石けん処方士  
編集人: HSA資格制度委員会ペット資格部会  
森山由子、岩田うみ、緒方優佳  
編集: 森山由子、岩田うみ、緒方優佳  
発刊: 一般社団法人ハンドメイド石けん協会  
〒143-0023 東京都大田区山王 2-12-6  
TEL.03-6303-8859  
member@sekken.info  
<https://www.sekken.info>

